



落羽松

観音寺市立観音寺東小学校
平成25年度学校だより 第11号
2013年11月23日

東小を心にきざみ 明日に夢を！
— ありがとう 観音寺東小学校 —

今月は、本校で二つの授業公開が行われ、子どもたちが進んで学ぶ姿を紹介しました。まず13日（水）には、「市内同学年研究会」が市内の9校で開催されました。本校では、2年生部会の会場校として主に同学年を担当している教師20数名が集う中、道徳の授業を公開しました。また20日（水）には、三豊・観音寺地区小学校教育研究会が開催されました。本校は図書館部会の会場校となり、4年生が国語の授業を約60名の教職員に見ていただきました。どちらの授業も、積極的に大きな声で発表したり、友だちの意見をよく聞いたりするという嬉しい子どもたちの姿を見ることができました。本校が重点的に取り組んでいる、「音声化」の成果を強く実感することができました。また、堂々と発表する姿や生き生きとした表情からは、個を尊重し合う温もりのある学級集団づくりの成果も強くうかがうことができました。

“子どもはよい環境の中でよりよく学び成長する”と言われます。小学生のこの時期、教師の指導は勿論のこと、家庭や地域の教育力も大きく影響します。今後も学校と家庭との連携を大切にしながら、観音寺小学校に自信を持って送り出せる心身ともにたくましい子どもづくりを目指しますので、ご理解・ご協力をお願いします。

いよいよ明日は、閉校記念式典と閉校記念祭が開催されます。特に学習発表会では、これまでの成長と学びを皆様にお伝えするために、友だちや教師と一生懸命に練習してきた姿を紹介します。きっと感動的な時間になると思いますのでどうぞご期待ください。



< 2年生の道徳の授業 >



< 4年生の国語の授業 >

本校の子どもたちが大活躍しました

11月16日（土）・17日（日）の両日、観音寺中央図書館において「観音寺子ども読書フェスティバル」が開催され、本校の子どもたちが大活躍しました。

- ◆ オープニングセレモニーでは、優秀読書標語の表彰式があり、3年生の岩田佑大さんが受賞しました。
受賞作品「大発見 夢のつまった 1ページ」



< 3年生の群読「祭り」 >

- ◆ 優秀読書感想文表彰式&発表会では、1年生の山本更紗さんが表彰され、大勢の人の前で堂々と発表しました。

受賞作品「しげちゃんをよんで」

- ◆ キッズ読み聞かせ隊によるおはなし会では、本校6年生の“ぴよぴよクラブ”3名（筒井美帆さん、宮本愛永さん、橋田咲季さん）による大型絵本を使った読み聞かせが行われました。
- ◆ エンディングセレモニーでは、3年生全員が群読「お祭り」を発表し、息のあった声と豊かな表現力で来場者を魅了しました。

授業参観と人権コンサートの開催



<1年生の授業>



<5年生の授業>



<6年生の授業>

10月27日(日)、各教室で本年度3回目の授業参観を実施しました。お家の方が見守る中、どの教室からも子どもたちが元気よく発表する声が聞こえ、子どもたちの「やる気」が十分に伝わってきました。

また授業後には、盲目のシンガーソングライター“堀内 佳”さんを講師に迎え、人権コンサート「今、しあわせに生きる為に・・・」を開催しました。コンサート終了後、大変多くの方々から下記のような感想が寄せられましたので一部紹介いたします。

感動・感動・感動の2時間

<児童の感想>

- お父さんが厳しかったのは、目が見えない佳さんに強くなってもらいたかったからだと思います。私も、これからは嫌だと言わずやってみようと思います。(2年生)
- 笑顔がみんなの心を変えるということを佳さんから教えてもらいました。帰りに握手した佳さんの手は温かかったです。(3年生)
- 佳さんから「生きる力」「命の大切さ」などを教えてもらい、とても自分の力になりました。そして、「自分を少しでも好きになってください」という堀内さんとの約束は、私にとってとても心深いです。目が見えないからといって障がい者として差別するのではなく、もともと障がい者は世界にはいないだと分かりました。(5年生)

<保護者の皆様から届いた声>

- ◇ 本も購入させてもらい、いっきに読みました。衝撃的でした。人はどんな状況になろうとも、あきらめなければどこまでも伸びていけるものですね。
- ◇ 「生きることの素晴らしさ」「命の大切さ」「自分との向き合い方」・・・子どもたちにも私たちにもとても分かり易く心に響くコンサートでした。子どもも素直に堀内佳さんのお話やギター・歌を受け入れ、素直に沢山のことを感じられたこと・・・本当に嬉しかったし、家族で感動できたこと・・・貴重な時間を過ごすことができました。
- ◇ 元気に子どもを育てていけること、改めて幸せなことだと感じました。自分の考えで幸せに生きていけるんですね。子どもたちを今のままでいい、そのままでいいと受け入れてあげてを忘れていたように思います。
- ◇ 澄んだ歌声、体からみなぎる生きる力、辛い体験だけれどそれを少しも感じさせない明るさ。見ている私はたくさんのエネルギーをいただきました。子どもに自信をつけさせるにはどうしたらよいか、ヒントをもらいました。
- ◇ 閉校記念として、とても心温まる、心に残る、心打たれ、動かされ、洗われ、強く背中押されたひとときでした。

